

ふれあい

高花平小学校 学校だより
No. 28
平成 29(2017)年 2月-2
☎ 321-3040, 320-2074

“学力のもと”=歯について考えよう

～ PTA本部役員さん、保体部さん、学級・地区委員さん、みなさんでどうぞ!!～

… 学校保健委員会〈子育てフォーラム〉だよ、全員集合!!…

■2/16(木) 15:00 受付, 15:20~16:30 ■視聴覚室 (P→運動場へ)

- 内容
 - ①本校児童の健康状態と学校での取り組み
 - ②学校歯科医・寺嶋宏樹先生による助言(歯と健康)
 - ③グループでの話し合い

*子どもたちは帰っています、東門から入って下さい。

「歯=食べる道具」というイメージですが、人間にとっては“大切な役割、はたらき”があります。強い力を出したり、すばやい動きをしたりするにも「歯」が重要で、スポーツ選手は、歯が悪いと力が発揮できないそうです。世界のホームランバッター・王選手も、引退するころには、かなり歯がすり減っていたとのこと。



子どもたちにとっても、「歯」は、運動や健康以外に、学習・学力にも大きな関係があるそうですよ。ぜひ、みなさんでおいで下さいね!!

…子どもたちの遊び道具、絵本を買います..

～ 保護者・地域のみなさんには、文化祭バザー、資源回収、ベルマークなどで大変お世話になりました。今年度は、バザー：140,955円、資源回収：21,392円の収益があり、PTA特別会計に預け入れました。

〈*昨年、ベルマークは約11万円分貯まり、遊び道具を注文しました→ 昨秋、「学校教育研究論文募集」に高花平小学校の取り組みを応募したところ、『優良校』として認められ、表彰状と賞金(研究助成金)10万円をいただきました。賞金の半分は子どもたちに、もう半分は先生たちのために使いたいと思います。



賞金の半分と、PTA特別会計(バザー・資源回収の収益など)の一部で、遊び道具・絵本などを購入させていただきます。ありがとうございます!!

絵本など → 読書コーナー、学級文庫などで自由に…

遊び道具 → ふれあいランドなどで楽しく使えるよ!!

～ これからも、ご協力をお願いいたします。～

*飼育小屋 (H4年PTA設置) をリユースした ふれあいランド



◆「みえの学力向上県民運動」チェックシートから みえてきた… ③

これまで、『生活リズム』『家庭学習』についてお知らせしました。今回は、私たち大人や子どもにとって、今、もっとも“身近なもの”になっている、テレビ・スマホなどについてです。

3 テレビ・ゲーム・スマホについて



テレビ・ゲームをする時間については、「低学年で1時間以内、中・高学年で2時間以内」という子どもたちの割合が一番高かったです。その子たちは、概ね時間を守れています。しかし、「2時間以上」という子どもたちもおり、長い時間 テレビ・ゲーム・スマホなどに接している子ほど 時間を守れないという傾向にあります。

スマホについては、家庭の事情などから、中学年のうちから所持し始める子もいるようです。ゲームやスマホについて、「リビングで使う」、「1日1時間」などのルールが決められている家庭がある一方、「ルールがない家庭」もあります。

子どもたちが様々なトラブルに巻き込まれないためにも、今一度、各家庭でルールを確認する必要があると思われます。 <*学力づくりグループのまとめ **おわり**>

🌍🌍🌍🌍 心のキャッチボール ~ みなさんからの声・56 ~ 🌍🌍🌍🌍

…… 学校評価（保護者・児童アンケート）「自由記述」の欄から ④ ……

○行事の時など、入場や退場をもっとピシッとなるようしっかり指導してほしい。行進や並んだ時の列なども練習してほしい。

○集団の行動の長所・短所をもっとはっきりと教育すべき

○評価するための評価基準のような体験がないので、評価したくてもできない項目がある。

「わからない」という項目があってもよいのでは？ 「わからない」ということは、不透明なことがあるということの現れでもあると思う。

○Am8:00以降登校になってから、子供（ウチの子）の登校する意欲が下がった。これは、20年以上あった歴史がなくなった気がして、とても残念。

○衛生面を考えて、トイレのスリッパを導入してほしい。

○自転車の飛び出しが多い。

→ 今回も、さまざまな観点から、いろいろな声をいただきました。

今年は、雨続きの運動会で、外での練習はほとんどできませんでした。運動会は、「日ごろの学習の成果を表現する場」とは言え、やはりSHOW的な面もあります。上二つのことについては、健康づくり G の先生たちで 来年度に向けて考えてもらいます。

評価の「わからない」は、昨年度まではあったのです。が、「面倒だったから，“あんまり知らない”ことは、みんな『わからない』と書いた…」という方が、何人かいました。（雑談の中から）そこで、YES・NOをはっきりさせて答えてもらうほうが、子どもさんに尋ねるなどして 責任ある回答をいただけると思って、今年から「E. わからない」をなくしたのです。これも、また、検討はしてみます。